

M I N A T O ビジョン・タウンフォーラム 防災・危機管理グループ（第5グループ）

会議録（第2回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年9月5日(金)18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階911会議室

メンバーアイテム：13名(欠席者2名)

【内訳】対面参加：10名、オンライン参加3名

事務局：企画課グループ担当3名、防災危機管理室3名、委託事業者2名(うちファシリテーター1名、グラフィックレコーダー1名)

■次第

(開会)

1 事務局より連絡

・所管課長紹介等

2 検討テーマに関する議論

・2040年の港区のうれしい姿・避けたい姿

・2040年から2025年の港区民へのメッセージ

3 事務局より連絡

・次回案内等

(閉会)

■配付資料

資料1 第2回グループ会議進行資料

資料2 第3回グループ会議に向けて

資料3 第1回会議録

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

サブリーダー(リーダー代理)により、第2回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

1 事務局より連絡

2 検討テーマに関する議論

ファシリテーターより、グループワークの進め方、ねらいについて説明が行われた。ラウンドごとの意見を付箋に書き出して意見を発表しながら、模造紙上で意見を分類分けした。

(1) 第1ラウンド 2040年の港区のうれしい姿・避けたい姿

(主な意見等)

事務局：類似の意見がある場合は、関連する付箋の近くにまとめて貼り付けるようにする。

【うれしい姿】

参加者：ペットと過ごせる防災拠点が増加しており、おいしい非常食がある。

参加者：ペットとの共存が前提となった防災計画が策定されている。

参加者：被災状況について迅速に把握が可能になっている。災害時のグローバル化対応が進んでいる。

参加者：学校、企業、地域、個人などそれぞれの単位で災害リスクが可視化され、有効な対策がとられている。

参加者：災害時の通信の復旧が早くなっている。

参加者：避難所としても活用できるような共用インフラが進歩している。

参加者：テクノロジーとコミュニティが融合した防災都市ができている。

参加者：インバウンドに対応した外国語表記が増加している。

参加者：情報の集積が一層進んでいる。

参加者：量子コンピューターが進歩して地震が予測できる。

参加者：道が広くなり事故が少なくなる。国からの補助が手厚くなり子どもの数が増加し共助がしやすくなる。

参加者：個人の通信デバイスや環境が更に進歩している。

参加者：ドローンが有効活用されている。

参加者：出生率が増加している、子供が増加している。

参加者：投票率が上昇している。

参加者：企業と住民、外国人と日本人、AI と人間、それぞれが最適に共存できている。

参加者：防災の備えが万全で安心して暮らせる町になっている。

参加者：歴史ある建造物や施設が保全されている。

【避けたい姿】

参加者：防災の担い手不足が加速している。

参加者：ペットの安否を案じる飼い主の二次的健康被害や動物が苦手な住民とのトラブル、情報格差が増加している。

参加者：タワマンの世帯数が多いことから安全確認が困難になっている。

参加者：ヒートアイランドが進んでいる。

参加者：訓練教育が衰退している。

参加者：インフラで対応できない災害が増加している。

参加者：自転車用道路の整備が進まず事故が増加している。

参加者：SNS を活用した犯罪の増加から高齢者の被害者が増加している。

参加者：犯罪の多国籍化から外国人との共存が困難となっている。

参加者：空き家や木造建築が残ってしまっている。

参加者：企業が増加したことによる住民減少が発生している。

参加者：個人主義が増加し、住みにくい環境が醸成されてしまう。

参加者：気温上昇が続いている。

参加者：詐欺やサイバー犯罪が増加している。

(2) 第2ラウンド 2040年から2025年の港区民へのメッセージ

(主な意見等)

参加者：扱いやすく分かりやすい防災に適したデジタル機器が増えている。

参加者：避難場所が更に多様化している。

参加者：災害対策を推進する組織を組成している。

参加者：災害時の対策に係る道路や公園等がある。

参加者：正しい防災情報の発信・受信体制が整っている。

参加者：若者の防災に係る知識を増やし防災の担い手になってほしい。

参加者：ペットと過ごせる避難所が整備されている。

参加者：企業の防災準備と住民の防災準備の格差を埋めなければならない。

参加者：災害の規模に応じた避難方法が再検討されている。

参加者：新技術を防災犯罪対策に取り入れている。

参加者：マンション、戸建て等が連携した組織作りができている。

参加者：多様性が形骸化していないか再検討する。

参加者：災害規模の推測システムが発達している。

参加者：地域活動に参加する人が多くなっている。

参加者：近隣の区との協働を検討している。

参加者：インバウンドやLGBTへの保護が手厚くなっている。

参加者：区全体のインフラが強化されている。

参加者：区民としての当事者意識を醸成し、港区のために考える機会が増加している。

参加者：有事の際の日本人のマナーやモラルを育成している。

参加者：技術の発展に伴い、利用者側のリテラシーが向上している。

参加者：災害時の想定外を作らない対策が進んでいる。

参加者：行政の取組について知る機会が増加している。

参加者：近隣者や地域住民、行政に対して自ら働きかける機運が醸成されている。

参加者：コミュニティに積極的に関与してほしい。

参加者：近隣者と顔なじみになっている。

参加者：ペットを含む家族の防災計画を策定している。

参加者：子どもを増やすために子どもを見守ることや自衛できるまちづくりが推進されている。

参加者：投票率が向上する施策が再検討されている。

参加者：安全で清潔な港区が維持されている。

3 事務局より連絡

事務局より、第1回会議録の修正、第3回グループ会議と発表会の開催日時、開催場所、本日の会議のグラフィックレコードの確認方法についての案内がされた。また、第3回グループ会議に向けた資料発送、当日の会議の進め方の案内もされた。

(閉会)

サブリーダーが閉会を告げ、終了。